

平成26年 第1回教育委員会会議録

1 日 時

平成26年1月23日(木)

開会 14時00分

閉会 15時10分

2 場 所

教育委員会室

3 出席した委員

金田清委員長、八重澤美知子委員、橋正徹委員、中村健一委員、木下公司教育長

4 説明のため出席した職員

村田潔教育次長、池廣巖雄教育次長、平島敏彦教育次長、表純一教育次長兼教員指導力向上推進室長、竹中功教育次長兼学校指導課長、濱辺正実教育次長兼スポーツ健康課長、金戸清外志庶務課長、齊田正活教職員課長、坂井芳子生涯学習課長、中川智夫文化財課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第1号 平成26年第1回石川県議会定例会提出予定案件について(原案可決)

議案第2号 一般行政職員に係る平成26年4月定期人事異動方針
について(原案可決)

議案第3号 教職員の人事について(原案可決)

6 報告案件

- 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本県の結果概要について

7 審議の概要

・開会宣告

金田委員長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第1号は、平成26年第1回県議会定例会提出案件のため、議案第2号及び議案第3号は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項に基づき非公開とすることを、全会一致で決定。

・ 質疑要旨

報告案件 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本県の結果概要について

(濱辺教育次長兼スポーツ健康課長説明)

12月14日に文部科学省より発表されました「平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本県の結果概要」につきまして、ご報告いたします。

29ページをご覧ください。

まず、「Ⅰ 調査の概要」について、ご説明いたします。

1の「調査目的」から、4の「調査内容」については、前年度と同様で、記載の通りです。

5の「調査方式」につきましては、平成21年度以来の悉皆調査により行われており、6の「調査を実施した本県の公立学校数・児童生徒数」については、記載のとおりです。

次に30ページの「Ⅱ 調査の結果」をご覧ください。

まず、1の「実技に関する調査の結果」について、ご説明いたします。

①「種目別の結果」については、本県の平均値は、小学校男女及び、中学校男女の全ての種目のうち、中学校男子の持久走、1500mの持久走ですが、この持久走を除く全ての種目で、全国を上回っております。

②の「体力合計点の結果」であります。これは、各調査種目の記録を1点から10点に得点化した上で、8種目分を合計した得点であり、80点が満点になります。本県は、小学校、中学校ともに全国平均を大きく上回っており、都道府県別でも上位に位置しております。

このことは、平成18年度から本県が独自に実施しております体力・運動能力調査の結果をもとに、各学校で積極的に体力アップに取り組んできた成果が表れているものと考えております。

続いて、31ページをご覧ください。

「2 質問紙調査の結果」について、主な内容を説明いたします。

「(1) 運動・スポーツをどのくらいしていますか」については、「ほとんど毎日」、「ときどき」と回答した本県児童生徒の割合は、両方合わせまして、小学校では、男女とも全国と同程度、中学校では、男女とも全国よりもやや高いという結果でした。

32ページをご覧ください。

「(2) 運動やスポーツをすることは好きですか」という問いにつきましては、「好き」及び「やや好き」と回答した本県児童生徒の割合は、小学校、中学校の男女とも全国と同程度という結果でした。

今後、本調査結果をもとに、体育の授業改善をはじめ、全ての公立小・中・高等学校で実施している「体力アップ1校1プラン」の一層の充実を図りながら、「運動やスポーツをすることが好き」である児童生徒を増やし、さらなる体力向上に努めて参りたいと考えております。

【質疑】

(金田委員長)

中学校でのスポーツとは、部活動が中心となるのだろうが、小学校でのスポーツとは、どのような場面が想定されるか。

(濱辺教育次長兼スポーツ健康課長)

体育の授業とは別に、例えば、学校全体で体力の向上やスポーツに親しむことを目的に取り組んでいる朝・昼の縄跳びやランニング、一輪車乗りなどや、子どもたち自身がスポーツクラブ等に通って行う運動・スポーツが当てはまると考えている。

(八重澤委員)

運動やスポーツと聞くと、子どもたちは、どのようなものを思い浮かべるのだろうか。例えば、雑巾がけなども、体を動かすので運動の一種であるとも考えられるし、専門家の間でも見解が分かれるが、県内で盛んな太鼓はスポーツなのかということもある。

(濱辺教育次長兼スポーツ健康課長)

中学生の場合は、運動部活動の他には、サッカー、野球などの一般的な種目としてのスポーツやキャッチボール、ランニングなどをイメージすると思うが、小学生も同様ではないかと思う。

したがって、雑巾がけなども含めて体を動かすこと全部を運動・スポーツであるとは捉えていないのではないかと思うが、この調査は、運動・スポーツとは何かについて特に定義せず実施しているため、子どもたちが、どのような範囲を運動・スポーツであるとして回答したのかは、はっきりしない。

(八重澤委員)

運動やスポーツが好きだと答える子どもの割合は、長期的に見るとどのような傾向にあるのか。増えているのか、減っているのか。

(濱辺教育次長兼スポーツ健康課長)

大きな変化はない。

(橋正委員)

石川県の結果が全国平均を上回っていることは、1校1プランの成果が現れていると考えられ、喜ばしいことだと思う。

調査結果によって、学校ごとの得意、不得意が分かったと思うが、学校は、結果を来年度の1校1プランの作成に反映させるのか。

(濱辺教育次長兼スポーツ健康課長)

この調査のほか、県独自に実施している体力・運動能力調査についても、結果を学校へ送っている。

各学校は、これらの結果をもとにして、例えば、前年度にボール投げの点数が低かった学校においては、全国平均以上になることなど、翌年度の具体的な目標を設定している。

そして学校は、その目標に向かって、例えばボール投げでは「スポチャレいしかわ」のボール投げの種目にできるだけ多くのクラスを参加させるなど、具体的な取組を行っている。

(金田委員長)

全国平均を上回ったことは喜ばしいと思う。ただ、中学校では部活動があるので、生徒にスポーツに参加する機会が多いが、小学校では、学校が終わってから少年野球やサッカーなどのクラブ活動への参加ということになる。

このため、家庭の経済的な理由でそれらの活動に参加できず、スポーツの楽しさを味わえない子どもが出てくると思う。

そこで、先生の負担になるかとは思いますが、県が進めている1校1プランやスポチャレいしかわなどで、全校で一輪車やランニングなどに取り組むなどし、子どもたちがよりスポーツに親しめる環境を整えて欲しい。

(金田委員長)

以降の審議については非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第1号 平成26年第1回石川県議会定例会提出予定案件について（非公開）

金戸庶務課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第2号 一般行政職員に係る平成26年4月定期人事異動方針について（非公開）

金戸庶務課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第3号 教職員の人事について（非公開）

齊田教職員課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・閉会宣言

金田委員長が、閉会を告げる。